

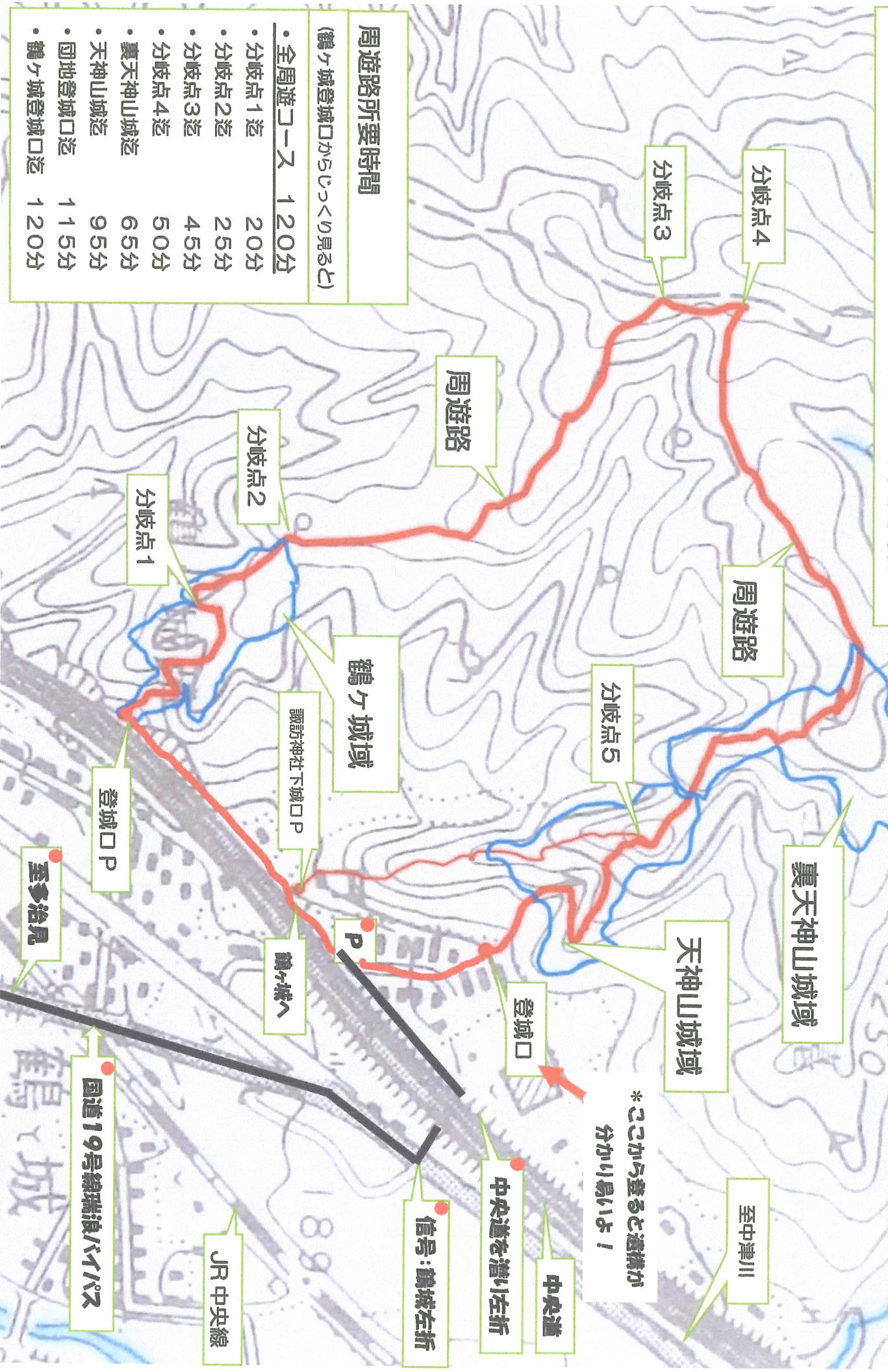
天神山、裏天神山城跡案内図

2018.12 作成 小倉

この山城は、平成 24 年 9 月（2012 年）に各務原在住「熊沢喜三郎」氏によって発見され、地山名を採って天神山城、その上部に続く城跡を裏天神山城と命名した。この城は、鶴ヶ城の支城として北東の守りを固める為、天正 2 年 2 月（1574 年）織田信長が武田攻めの折に滞在し、重臣の「河尻秀隆」に命じ普請させたものと思われる。この時彼は鶴ヶ城の定番として置かれた。遺構は山の尾根を活用し南北 400m に及び、東からの攻撃に対して防備の様態を示している、造りは大胆なものではないが山城としての機能は所々に備えている。天正 10 年 3 月（1582 年）信長が鶴ヶ城に着陣した、武田氏滅亡後廃城となったと思われる。



鶴ヶ城・天神山城・裏天神山城案内図



周遊路所要時間

(鶴ヶ城登城口からじつくり見ると)

- 全周遊コース 1 20分
- 分岐点1迄 20分
- 分岐点2迄 25分
- 分岐点3迄 45分
- 分岐点4迄 50分
- 裏天神山城迄 65分
- 天神山城迄 95分
- 団地登城口迄 1 15分
- 鶴ヶ城登城口迄 1 20分

至多治見

国道19号線瑞浪バイパス

JR 中央線

鶴ヶ城域

諏訪神社下城口P

鶴ヶ城へ

信号：鶴城左折

中央道を潜り左折

中央道

*ここから登ると道標が
分かり易いよ！

至中津川

裏天神山城域

天神山城域

周遊路

周遊路

分岐点3

分岐点4

分岐点5

分岐点2

分岐点1

登城口P

登城口